

新型コロナウイルス 感染症の若者への 影響 (ネパールの場合)



学生医療ボランティア

医学生約75名がボランティアとして参加し、新型コロナウイルス感染症の治療と緩和を手伝った。



教育部門の変化

パンデミックの影響で教育機関が閉鎖。試験も中止された。政府は11大学にオンライン授業のインフラ整備に助成金を出したが、オンライン授業の実施状況は全国でバラバラだった。



青年啓発 キャンペーン

国家青年会議が、新型コロナウイルス感染症について青年に情報を提供することを目的としラジオ番組を制作するとともに、青年の意識向上を目指して、アニメーションや情報画像を広めた。



隔離施設の 管理

国家青年会議が様々な市民社会組織（CSO）と連携し、帰国した労働者や旅行者用の隔離施設の地域レベルの管理を支援。



若者の メンタルヘルス

新型コロナウイルス感染症蔓延中、特に思春期の若者の自殺率が上昇したとの報告があり、国家青年会議は、SNSを通じて心の健康とウェルビーイング（幸せ）に関するオンラインセミナーを行うとともに、16日間のGBV防止キャンペーンに合わせてオンラインのコンテストや催しを行い、若者に働きかけた。



青年 ボランティア

青年スポーツ省は、新型コロナウイルス感染症に対する意識向上のために青年ボランティア1,473人を動員。地方自治体も、啓発活動や除菌活動を手伝う青年ボランティアを動員した。



ボーイ・ガールスカウトのボランティア9,650人が啓発活動に参加し、隔離センターの支援、衛生管理、綿棒による検体採取、遺体管理、医療従事者の移動管理、マスクの製作・配布などを行った。